

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人 亀岡人と自然のネットワーク

1 事業の成果

今年度も琵琶湖淀川水系で唯一となったアユモドキ個体群の生息環境の保全、調査を中心に活動を行ってきた。

6月のラバー堰下流でのアユモドキ救出個体は、53尾（昨年生まれ（推定）が15尾、それより大きな親魚38尾）だった。昨年度の39尾を上回り、一昨年度の59尾に近づいた。2014年の3尾からは回復傾向にあるが、2012年の147尾の水準には回復していない。秋の推定個体数調査の結果は、当歳魚1,592尾、1歳以上魚166尾であった。当歳魚は、令和元年度以降の増加傾向を継続し昨年の1,087尾を上回り、2009年の2,236尾に次ぐ結果であった。一方で、それに応じた1歳以上魚の増加は認められず、昨年度の381尾を下回り、ここ10年余りで最も少ない結果であった。今年度も、アユモドキの減少原因調査、増殖方策検討のため、桂川合流部と曾我谷川上流部で移動状況調査、生息地改善対策等を行った。

環境省が外来魚流下防止トラップ設置しているため池で、昨年にオオクチバスが確認された安町大池とその上流の古池で外来魚駆除調査を行い、安町大池でオオクチバス387尾、古池でオオクチバス254尾、ブルーギル2033尾を駆除した。

亀岡市等と連携してアユモドキなど自然環境保全に関する普及啓発活動を行った。一昨年度に竣工したサンガスタジアムのアユモドキ飼育・啓発支援活動を継続している。

亀岡市内には希少種ヤマトサンショウウオが生息しており、昨年度に続いて夏原グラントの支援を得て調査・保全活動を行い、卵塊から幼生、幼体、成体に至る各成長段階の生態データを収集し、アライグマによる食害防除対策として設置した隠れ家の効果を確認することができた。

アユモドキ生息域とその周辺では、公園整備や圃場整備、道路、河川改修事業が計画及び実施されている。今後も人と自然の共生を進めるため、アユモドキなど希少種の生息環境保全に取り組んでいきたい。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	当該事業の 実施日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	事業費の金額 (概算) (単位：千円)
(1) 野生生物、 生態環境等に 関する調査	口丹波地域アユモドキ保 全回復事業	令和3年5月11日 ～ 令和4年3月25日	曾我谷 川周辺	200人	京都府民 260万人	2,361
	ヤマトサンショウウオの 生息環境保全事業	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日	亀岡市 内	20人	亀岡市民 9万人	488
(2) 野生生 物、生態環境 等に理解を深 める啓発活動	普及啓発活動	令和3年7月1日 ～ 令和4年3月31日	亀岡市 内	50人	亀岡市民 9万人	408